

# 新幹線関連整備・開業効果特別委員会行政視察

1月30日から31日にかけて、委員8名、事務局随員2名で、滋賀県長浜市・米原市、愛知県知多市を訪問し、駅周辺の整備状況等について視察してまいりました。

## ■滋賀県長浜市

【第2期長浜市中心市街地活性化基本計画及びえきまちテラス長浜の概要について】

長浜市では、多くの市と同様に、大型店舗の郊外への移転、車社会の進展に伴う市街地への拡散、また、高齢化や担い手不足により、駅周辺市街地における商店街の空洞化が進み、これらを打開するため、基本計画を策定し、中心市街地の活性化に向けた取組を始めました。

まず、平成21年からの5年間で第1期計画、平成26年からの6年間で第2期計画とし、両計画の中で官民合わせて150の事業を行い、総事業費約300億円をかけ様々な事業に取り組みんでいます。第2期計画においては、長浜駅周辺の再整備や町中の老朽化した商業施設の再開発事業の更新、図書館やまちづくりセンター、市役所本庁の整備を行い、さらに、町中の空き家や店舗の流動化に向けた取組を

中心に行っていました。

また、地元の方々が資金を出資し、第3セクター「株式会社黒壁」を立ち上げ、まちなか再生プロジェクトなど、総合的なマネジメントの機能を担い、かつエリア内のまちづくりを主体的に牽引しているとのことでありました。

えきまちテラス長浜は、JR長浜駅とパデストリアンデッキで直結した複合施設です。駅周辺の持続可能なまちづくりを推進するため、エリアマネジメントによって生み出される収益を駅周辺まちづくりに還元し、継続的な集客に取り組んでいるとのことでありました。



えきまちテラス長浜（長浜市）

ンスペースとなっており、仕事や勉強、打合せなど、様々な方に利用していたれているとのことでした。さらに、米原駅と市役所をつなぐ連絡通路を設置したことで、改札まで徒歩1分程度で行き来でき、利用者の利便性向上が図られたとのことでありました。

新幹線通勤者定期券等補助金は、大都市勤務の若者世帯の移住やU・Iターンを促進するための制度として昨年の4月に創設されました。しかしながら、現在、この補助金の利用者は1名であり、補助条件の緩和や制度の周知等が課題とのことでありました。

## ■愛知県知多市

【名鉄朝倉駅周辺整備について】

名鉄朝倉駅は、「コロナ禍以前は、1日当たりの乗降客数が、約8,000人と市内で最も乗降客数の多い主要駅であり、名古屋駅や中部国際空港をはじめ、広域へのアクセスにも優れた立地にあります。また、駅周辺には、行政機関・文化施設・スポーツ施設などが集積し、知多市の核となっています。しかしながら、築50年以上経過している市庁舎の老朽化や、駅前市有地が有効活用されていないなど

の課題により、平成30年に朝倉駅周辺整備基本構想を策定しました。

基本構想では、事業区域を文化・娯楽等の多様な機能の集積を図る北街区、市役所を中心とした生活の利便性向上・にぎわい形成を図る中街区、定住拠点を目指す住宅ゾーンの南街区の3つの街区に分け、ポテンシャル分析や市民ニーズを踏まえ、それぞれのエリアにおける現状・課題を精査し、駅周辺をにぎわいの交流拠点となるよう、また、事業の実施に当たっては将来の施設の維持管理・運営コストも考慮しながら努めているとのことでした。



名鉄朝倉駅周辺（知多市）

## ■視察を終えて

加賀市においては、北陸新幹線加賀温泉駅開業が来春に迫っています。駅周辺施設の魅力や利便性向上、周辺のまちづくり環境の整備など、開業効果を最大限に生かすための施策・課題への取組に、今回視察した内容を役立てていきたいと思えます。